

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.29 別冊 「市民」とは何か : 現代市民社会論の現状と課題 特集号, 2004.3 : 3-7
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3686
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。東京神学大学名誉教授。現在、聖学院大学大学院教授。学校法人聖学院院長・理事長。聖学院大学総合研究所長。

〔著書〕『ブルンナー 人と思想』（日本基督教団出版部，1962年），『ピューリタニズムの倫理思想』（新教出版社，1966年），『ピューリタン——近代化の精神構造』（中央公論社，1968年），『終末論的考察』（中央公論社，1970年），『終末論』（紀伊國屋書店，1972年），『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』（白水社，1976年），『キリスト入門』（ヨルダン社，1976年），『歴史神学と社会倫理』（ヨルダン社，1979年），『偶然性と宗教』（ヨルダン社，1981年），『バルト』（講談社，1984年），『日本の神学』（共著，ヨルダン社，1989年），『主の祈り』（聖学院大学出版会，1990年），『新しい共同体の倫理学 基礎編』（上・下，教文館，1994年），『日本は変わるか——戦後日本の終末論的考察』（共著，教文館，1996年），『ローマ人への手紙——現代へのメッセージ』（教文館，1998年），『宇魂和才の説——21世紀の教育理念』（聖学院大学出版会，1999年），『時の徴——第三ミレニアムとグローバリゼーション』（教文館，2000年），『組織神学序説——プロレゴメナとしての聖書論』（教文館，2003年），その他。

大澤 麦 おおさわ・むぎ

1963年生まれ。慶応義塾大学法学部政治学科卒。明治学院大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。法学博士。現在、聖学院大学総合研究所助教授。

〔著書〕『自然権としてのプロパティ——イングランド革命における急進主義政治思想の展開』（成文堂・1995年），『イギリス・デモクラシーの擁護者A・D・リンゼイ——その人と思想』（共著，聖学院大学出版会，1998年）。

〔訳書〕『デモクラシーにおける討論の生誕——ピューリタン革命におけるパトニー討論』（共訳，聖学院大学出版会，1999年）

マックス・スタックハウス Max L. Stackhouse

ハーバード大学大学院修了 (Ph.D.)。博士論文は“Eschatology and Ethical Method in W. Rauschenbusch and R. Niebuhr” 現在、プリンストン神学大学院教授。専門はキリスト教社会倫理。

〔著書〕 Ethics and the Urban Ethos: An Essay in Social Theory and Theological Reconstruction (Beacon Press, 1973), Creeds, Society and Human Rights: A Study in Three Societies (Eerdmans, 1984; Reprinted: Parthenon Press, 1996) [Religious Book Club Selection, 1985], Apogogia: Contextualization, Globalization and Mission in Theological Education (Eerdmans, 1988), Public Theology and Political Economy: Christian Stewardship in Modern Society (Eerdmans, 1987; Reprinted, University Press of America, 1991), Christian Social Ethics and The Globalization of Economic Life (with Peter Berger, et al., Nashville: Abingdon, 1995) [Christian Ethics and Economic Life, Vol. 1], Covenant and Commitments: Faith, Family and Economic Life (Westminster/John Knox, 1997) など多数。

スティーヴン・カールバーク Stephen Kalberg

ニューヨーク州立大学ストニーブルック校でPh.D. (社会学) 取得。現在、ボストン大学社会学部助教授。

〔著書〕 Max Weber's Comparative-Historical Sociology (Polity Press and The University of Chicago Press, 1994) [邦訳・甲南大学ヴェーバー研究会訳『マックス・ヴェーバーの比較歴史社会学』ミネルヴァ書房], (new translation and introduction) Max Weber, The Protestant Ethic and the Spirit of Capitalism, Los Angeles 2002, “Max Weber on world Views: Their Past and Present Influence.” in Takeji Ibaraki, ed., HISTORISCHE SOZIOLOGIE UND MAX WEBER. (村上守行訳『マックス・ヴェーバーにおける世界観の射程——その過去と現在』(茨木竹二ほか編『歴史社会学とマックス・ヴェーバー (下) —— マックス・ヴェーバーにおける歴史と社会』(理想社, 2003年, pp. 161-190) ほか多数。

相澤 一 あいざわ・はじめ

1967年生まれ。国際基督教大学教養学部卒。東京神学大学大学院修士課程修了。ニューヨーク・ユニオン神学校S. T. M. コース修了。関東学院中学・高等学校聖書科教諭を経て、現在、聖学院大学特任講師。

〔論文〕「パウロ・ティリッヒの『宗教史の神学』——その諸相と変遷」(東京神学大学神学会『神学』56号, 1994年), 「ティリッヒ神学における人格神の概念」(組織神学研究所編)『パウ

ル・ティリッヒ研究』(聖学院大学出版会, 1999年)

〔訳書〕パウル・ティリッヒ『宗教の未来』(共訳, 聖学院大学出版会, 1999年)

古矢 旬 ふるや・じゅん

1947年生まれ。東京大学法学部卒。プリンストン大学歴史学部大学院 (Ph.D.)。現在、北海道大学大学院法学研究科教授。

〔論文〕“American Exceptionalism: A View from Japan,” *Nanzan Review of American Studies* (南山大学アメリカ研究雑誌 vol.29, no.1, Summer 1997), “Graduate Student and Quaker,” Nitobe Inazo, John Howes, ed. (Boulder: Westview, 1997), 「アメリカニズム: その歴史的起源と展開」(『20世紀システム1 構想と形成』, 東京大学出版会, 1998年), 「日本の市民とアメリカの市民」(今井弘道編『「市民」の時代』, 北海道大学図書刊行会, 1998年), 「市民とは何か」(今井弘道と共同執筆・同前書), 「マルティカルチュラリズムと国民統合——一つの歴史的展望」(長谷川晃編『市民的秩序のゆくえ』, 北海道大学法学部ライブラリー第4巻, 北海道大学図書刊行会, 1999年), “Predecessors: A Personal View,” in Rob Kroes, ed. *Predecessors: Intellectual Lineages in American Studies* (Amsterdam: VU University Press, 1999), 331-339. 「『反共主義体制』の展開と解体」(久保文明他編『現代アメリカ政治の変容』, 勁草書房, 1999年), 「『移民国家』における『移民問題』——現状と展望」(五十嵐武士編『アメリカの多民族体制——「民族」の創出』, 東京大学出版会, 2000年), 「『アメリカの世紀』の終わり?」(山内昌之編『岩波講座世界歴史 27 ポスト冷戦から21世紀へ』, 岩波書店, 2000年), 『アメリカニズム——「普遍国家」のナショナリズム』(東京大学出版会, 2002年) など。

古屋 安雄 ふるや・やすお

1926年上海生まれ。自由学園, 1951年日本神学専門学校(現東京神学大学)卒。サンフランシスコ, プリンストン, チュービンゲンに留学。プリンストン神学大学より神学博士 (Th. D.)。組織神学・宗教学専攻。1959年以来, 国際基督教大学教会牧師。同大学宗務部長, 教授。その間, プリンストン神学大学, アテネオ・デ・マニラ大学の客員教授, 東京大学, 東京女子大学, 東京神学大学の講師を歴任。1999年4月より聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科科長, 教授。

〔著書〕『キリスト教国アメリカ』(新教出版社, 1967), 『キリスト教の現代的展開』(新教出版社, 1969), 『プロテスタント病と現代』(ヨルダン社, 1973), 『激動するアメリカ教会』(ヨルダン社, 1978), 『現代キリスト教と将来』(新地書房, 1984), 『宗教の神学』(ヨルダン社, 1985), 『日本の神学』(ヨルダン社, 1989), 『日本神学史』(編著, ヨルダン社, 1992), 『大学の神学』(ヨルダン社, 1993), 『日本の将来とキリスト教』(聖学院大学出版会, 2001), 『日本のキリスト教』(教文館, 2003) など。

田中 豊治 たなか・とよじ

1926年生まれ。東京大学経済学部卒。同大学院社会科学研究所(経済史学専攻課程)博士課程修了。経済学博士(東京大学)。法政大学教授、千葉大学教授、大東文化大学教授を歴任。現在、聖学院大学総合研究所客員教授。千葉大学名誉教授、大東文化大学名誉教授。

〔著書〕『イギリス絶対王政期の産業構造』(岩波書店, 1968), 『ウェーバー都市論の射程』(岩波書店, 1986), 『近代世界の変容』(共編著, リプロポート, 1991) など。

〔訳書〕S・N・アイゼンシュタット『文明形成の比較社会学』(共訳, 未来社, 1991)。

近藤 正臣 こんどう・まさおみ

1942年生まれ。国際基督教大学行政大学院修士課程修了。現在、大東文化大学経済学部教授、国際会議通訳者協会(AIIC)のシニア・メンバー。

〔著書・論文〕『開発と自立の経済学』(同文館, 1989年), 『文化・言語・発展途上国——社会科学複眼思考』(北樹出版, 1989年), 'Japanese Interpreters in Their Sociocultural Context,' *Meta*, March 1988; 'What Comparative Economic History Offers Development Economics,' *Ex Oriente*, 1991; 'Cassette Effect in Japanese Translation Words,' *The Interpreters' Newsletter, Special issue*, 1992; 「日米構造協議の意味」(大東文化大学経済研究所『研究報告』1996年), 「アルゼンチンとオーストラリア——何が両者を分けたか」(『大東文化大学経済学部創設60周年記念論文集』1999年) など。

〔訳書〕Hisao Otsuka, *The Spirit of Capitalism* (岩波書店, 1982年); E・A・リグリュ『エネルギーと産業革命』(同文館, 1991年)。

ポール・T・シュー Paul T. Shew

1969年生まれ。1988年ロータリー留学生として仙台育英高校卒。1989年米国オハイオ州ミドルタウン高校卒。1992～1993年早稲田大学国際部留学。1994年アーラム大学卒(B. A. 日本研究)。1997年ハーバード大学大学院修士課程修了(M. Div.)。1997年よりフラー神学大学博士課程において東アジア近代キリスト教史の研究を行なう。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。フラー神学大学院Ph. D. Candidate, 合同メソジスト教会牧師。Website: Paul. Shew.com

ウィリアム・G・クレーラ William G. Kroehler

1931年米国ミズーリ州生まれ。ロッキーマウンテン大学（英文学専攻）卒。スカーレット大学院（人類学・言語学専攻）修了。1959年、宣教師として来日。以来、1971年より女子聖学院短期大学学長。1978年より女子短期大学附属みどり幼稚園園長。また聖学院大学教授を経て、現在、聖学院国際センター所長。

〔著書〕『愛のうちを歩む』、『忘れないでほしい』。